

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成26年7月14日（月）～平成26年7月20日（日）〔平成26年第29週〕の感染症発生状況

第29週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)手足口病でした。

ヘルパンギーナは定点当たり10.52人と前週（6.27）より患者報告数は更に増加し、流行発生警報基準値である定点当たり6人を大きく上回りました。

感染性胃腸炎は定点当たり6.27人と前週（5.85）より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。

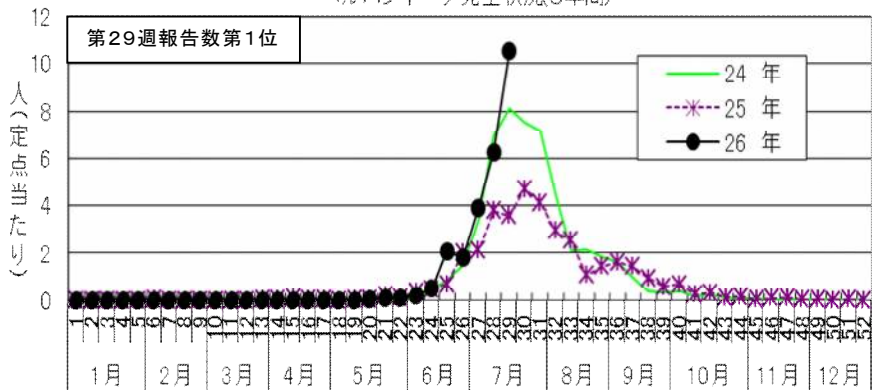
手足口病は定点当たり3.24人と前週（1.58）から患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



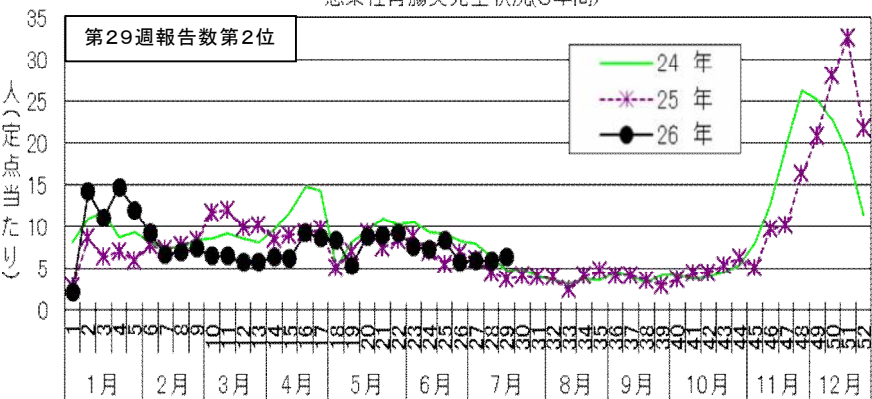
ヘルパンギーナは更に増加！手足口病にも要注意！

ヘルパンギーナの患者報告数は3週連続で増加し、定点当たり10.52人と例年を大きく上回りました。また、手足口病の患者報告数も、徐々に増えています。ヘルパンギーナや手足口病は「夏かぜ」と呼ばれ、これから気温が上がると更に患者報告数が増加する可能性があります。

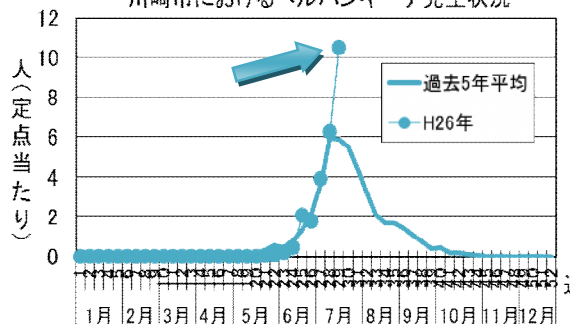
ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



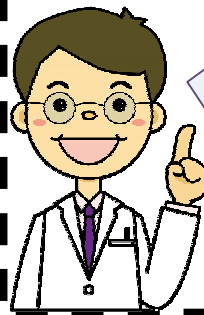
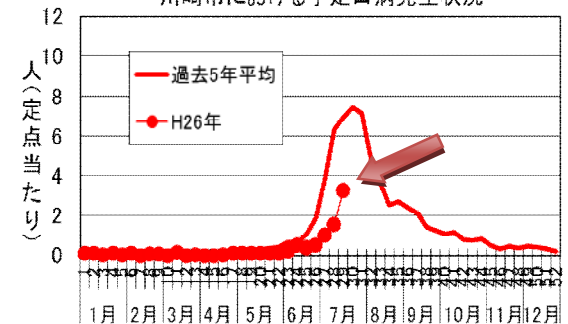
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市におけるヘルパンギーナ発生状況



川崎市における手足口病発生状況



ヘルパンギーナや手足口病は、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど、複数のウイルスが原因となるため、一度感染しても、再び別のウイルスに感染して発症することもあります。



予防の基本は「手洗い」